

令和 8 年度
公共用水域等水質分析委託
(公共用水域常時監視業務)
仕様書

1 測定方法

- (1)採水日は、原則として毎月第一水曜日とする。
- (2)採水は、採水日前に比較的晴天が続き、水質が安定している日を選んで実施する。
- (3)採水は、原則として流心において、水面からの水深の 2 割程度の深さにおいて行う。
- (4)測定方法は、別表のとおりとする。

2 測定結果の報告

毎月の測定結果は、計量証明書及びデータ報告用ファイル（※別添操作マニュアル参照）にて、翌月の 10 日までに報告する。また、3 月の測定結果については、契約期間までに報告する。

ただし、健康項目について環境基準値を超過したときは、直ちに連絡し市と協議のうえ、当該水域に関し追跡調査を行い、その結果を報告する。

また、計量証明書及びデータ報告用ファイルには、採取月日、採取箇所、採取時刻、採取位置、採取水深を記載する。

3 契約期間

令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 23 日までとする。

4 その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度協議して定める。

(別表) 測定方法

測定項目		報告下限値 (mg/L)	測定方法	備考
生活環境項目	p H	-	日本産業規格（以下「規格」という）K0102-1 12に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	昭和46年環境庁告示第59号
	D O	0.5	規格K0102-1 21.2、21.3、21.4及び21.5に定める方法又は隔膜電極若しくは光学式センサを用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	〃
	B O D	0.5	規格K0102-1 18に定める方法	〃
	C O D	0.5	規格K0102-1 17.2に定める方法	〃
	S S	1	付表8に掲げる方法	〃
	大腸菌数	1 (CFU/100mL)	規格K0102-5 5.6.6.2(5.6.2.7は除く。)に定める方法(ただし、試料採取後直ちに試験ができないときは、0～5℃(凍結させない)の暗所に保存し、9時間以内に試験することが望ましく、12時間以内に試験する。)	〃
	全窒素	0.05	規格K0102-2 17.3、17.4又は17.5 17.5(17.5.3.2を除く。)に定める方法	〃
	全りん	0.003	規格K0102-2 18.4(18.4.1.4のbを除く。)に定める方法	〃
	全亜鉛	0.001	規格K0102-3 12.2、12.3、12.4及び12.5に定める方法	〃
	ノニルフェノール	0.00006	付表9に掲げる方法	〃
	重金属アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)	0.0006	規格K0102-4 6.2.5に定める方法	〃
健康項目	カドミウム	0.0003	規格K0102-3 14.3、14.4又は14.5に定める方法	昭和46年環境庁告示第59号
	全シアン	0.1	規格K0102-2 9.3.2若しくは9.3.3の蒸留操作を行い、9.4.9.5若しくは9.6(ただし、蒸留操作は装置にて行わない)の分析を行う方法又は付表1(蒸留操作は装置にて行う)に掲げる方法	〃
	鉛	0.001	規格K0102-3 13.2、13.3、13.4又は13.5に定める方法	〃
	六価クロム	0.005	規格K0102-3 24.3 (規格K0102-3 24.3.3及び24.3.7を除く。)に定める方法(ただし、次の1及び2までに掲げる場合にあっては、それぞれ1から2までに定めるところによる。) 1 規格K0102-3 24.3.4、24.3.5又は24.3.6に定める方法による場合(24.3.3.4のb)による場合に限る。) 試料に、その濃度が基準値相当分(0.02mg/L)増加するように六価クロム標準液を添加して添加回収率を求め、その値が70～120%であることを確認すること。 2 規格K0102-3 24.3.2に定める方法により汽水又は海水を測定する場合 1に定めるところによるほか、規格K0170-7 7の a)又はb)に定める操作を行うこと。	〃
	砒素	0.001	規格K0102-3 20.3、20.4又は20.5に定める方法	〃
	総水銀	0.0005	付表2に掲げる方法	〃
	ジクロロメタン	0.002	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	〃
	四塩化炭素	0.0002	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	〃
	1,2-ジクロロエタン	0.0004	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法	〃
	1,1-ジクロロエチレン	0.01	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	〃
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	〃
	1,1,1-トリクロロエタン	0.0005	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	〃
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	〃
	トリクロロエチレン	0.001	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	〃
	テトラクロロエチレン	0.0005	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	〃
	ベンゼン	0.001	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	〃
	セレン	0.002	規格K0102-3 26.2、26.3又は26.4に定める方法	〃
	ふっ素	0.08	規格K0102-2 5.2及び5.3、5.2及び5.4 (妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあつては、蒸留試薬溶液として、水約200mlに硫酸10ml、りん酸60ml及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mlを混合し、水を加えて1,000mlとしたものを用い、規格K0170-6 6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)又は5.2 (蒸留操作を行う場合にあっては、フェノールフタレイン溶液を加えず、pH試験紙によって液性を判別する。懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあつては、蒸留操作を省略することができる。)及び5.5に定める方法	〃
	ほう素	0.02	規格K0102-3 5.2、5.5又は5.6に定める方法	〃
	1,4-ジオキサン	0.005	付表7に掲げる方法	〃
特殊項目	フェノール類	0.01	規格K0102-4 5.2.3 (ただし、蒸留操作を行うときは、5.5.5.3に規定する方法を除く。)又は5.2.4 (ただし、試験操作を行うときは、規格K0170-5のうち6.3.2、6.3.3又は6.3.4に規定する方法に限る。)に定める方法	昭和49年環境庁告示第64号
	銅	0.01	規格K0102-3 11.3、11.4、11.5又は11.6に定める方法	〃
	クロム	0.02	規格K0102-3 24.2に定める方法	〃

令和8年度 公共用水域常時監視業務 月別検査項目

五行川：下岡橋 大谷川：西方上の橋		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		回 数		総 計	
		五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川	五行川	大谷川		
一 般 項 目	天 候	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	前日天候	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	外 観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	色 相	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	臭 気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	気 温	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	水 温	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	流 量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	透視度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	全水深	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
生 活 環 境 項 目	p H	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	D O	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	BOD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	COD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	S S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	大腸菌数	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○			
	全窒素	○	○					○	○					○	○					○	○								
	全りん	○	○					○	○					○	○					○	○								
	全亜鉛	○	○			○	○			○	○			○	○			○	○			○	○						
	ノニルフェノール	○	○			○	○			○	○			○	○			○	○			○	○						
重質アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）		○	○			○	○			○	○			○	○			○	○			○	○						
健 康 項 目	カドミウム							○	○											○	○						2	2	4
	全シアン							○	○											○	○						2	2	4
	鉛							○	○											○	○						2	2	4
	六価クロム							○	○											○	○						2	2	4
	砒 素							○	○											○	○						2	2	4
	総水銀							○	○											○	○						2	2	4
	ジクロロメタン							○	○											○	○						2	2	4
	四塩化炭素							○	○											○	○						2	2	4
	1,2-ジクロロエタン							○	○											○	○						2	2	4
	1,1-ジクロロエチレン							○	○											○	○						2	2	4
	シス-1,2-ジクロロエチレン							○	○											○	○						2	2	4
	1,1,1-トリクロロエタン							○	○											○	○						2	2	4
	1,1,2-トリクロロエタン							○	○											○	○						2	2	4
	トリクロロエチレン							○	○											○	○						2	2	4
	テトラクロロエチレン							○	○											○	○						2	2	4
	ベンゼン							○	○											○	○						2	2	4
	セレン							○												○							2	0	2
	ふっ素							○	○											○	○						2	2	4
	ほう素							○	○											○	○						2	2	4
1,4-ジオキサン							○	○											○	○						2	2	4	
特 殊 項 目	フェノール類			○	○																						1	1	2
	銅			○	○																						1	1	2
	クロム			○	○																						1	1	2

令和8年度公共用水域常時監視業務設計書

	項 目	回 数	単 価(円)	金 額(円)	実施月
一 般 項 目	天 候	24			毎 月
	前日天候	24			
	外 観	24			
	色 相	24			
	臭 気	24			
	気 温	24			
	水 温	24			
	流 量	24			
	透視度	24			
	全水深	24			
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度	24			毎 月
	溶存酸素	24			
	生物化学的酸素要求量	24			
	化学的酸素要求量	24			
	浮遊物質	24			
	大腸菌数	12			
	全窒素	8			4,7,10,1月
	全りん	8			
	全亜鉛	12			4,6,8,10,12,2月
	ノニルフェノール	12			
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	12			
健 康 項 目	カドミウム	4			7,1月
	全シアン	4			
	鉛	4			
	六価クロム	4			
	砒 素	4			
	総水銀	4			
	ジクロロメタン	4			
	四塩化炭素	4			
	1,2-ジクロロエタン	4			
	1,1-ジクロロエチレン	4			
	シス-1,2-ジクロロエチレン	4			
	1,1,1-トリクロロエタン	4			
	1,1,2-トリクロロエタン	4			
	トリクロロエチレン	4			
	テトラクロロエチレン	4			
	ベンゼン	4			
	セレン	2			
	フッ素	4			
	ホウ素	4			
	1,4-ジオキサン	4			
特 殊 項 目	フェノール類	2			5月
	銅	2			
	クロム	2			
	小 計				

令和 8 年度
公共用水域等水質分析委託
(公共用水域水質分析業務)
仕様書

1 測定方法

- (1)採水は、採水日前に比較的晴天が続き、水質が安定している日を選んで実施する。
- (2)採水は、原則として流心において、水面からの水深の 2 割程度の深さにおいて行う。
- (3)測定方法は、水質汚濁防止法及び関係法令等に基づく方法により行う。

2 測定結果の報告

- (1)測定結果は、計量証明書にて採水日から一ヶ月以内に報告する。また、3 月の測定結果については、契約期間までに報告する。
- (2)計量証明書には、採取月日、採取箇所、採取時刻、採取位置、採取水深を記載する。

3 契約期間

令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 2 3 日 までとする。

4 その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度協議して定める。

令和8年度 公共用水域水質分析業務 箇所別検査項目

項 目	実施月	大谷川 (筑瀬橋)	小貝川 (八田堰)	田谷川 (一本松地内)	内沼川 (中村新田地内)	糸繰川 (関館橋)	北台川 (桜 橋)	大 川 (桜川合流前)	観音川		総 計
									小栗地内	有田南橋	
天 候	5月 8月 11月 2月 (4回/年)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
気 温		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
水 温		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
透視度		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
p H		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
D O		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
B O D		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
C O D		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
S S		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
全窒素		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
全りん		○	○	○	○	○	○	○	○	○	36
大腸菌数			○								4
砒 素	5月 11月 (2回/年)		○								2
全シアン			○								2
アルキル水銀			○								2
有機リン			○								2
カドミウム			○								2
鉛			○								2
六価クロム			○								2
電気伝導率			○								2
亜 鉛			○								2
銅			○								2
クロム			○								2
総水銀			○								2
トリクロロエチレン			○								2
テトラクロロエチレン			○								2
1,1,1-トリクロロエタン			○								2
ほう素			○								2

令和7年度公共用水域水質分析業務設計書

項 目	回 数	単 価(円)	金 額(円)	実施月
天 候	36			5,8,11,2月
気 温	36			
水 温	36			
透視度	36			
水素イオン濃度	36			
浮遊物質	36			
生物化学的酸素要求量	36			
化学的酸素要求量	36			
溶存酸素	36			
全りん	36			
全窒素	36			
大腸菌数	4			
砒 素	2			5,11月
全シアン	2			
アルキル水銀	2			
有機リン	2			
カドミウム	2			
鉛	2			
六価クロム	2			
電気伝導度	2			
亜 鉛	2			
銅	2			
全クロム	2			
総水銀	2			
トリクロロエチレン	2			
テトラクロロエチレン	2			
1,1,1-トリクロロエタン	2			
ほう素	2			
小 計				

公共用水域常時監視				
公共用水域水質分析				
小 計				
消費税				
合 計				